

「安保3文書」基づく23年版外交青書

## 軍事力一辺倒の方針

林芳正外相は11日の

面

青書は安保3文書に

一辺倒の「外交方針」を示しました。

決策」を評価。22年版

にはなった「日韓を

健全な関係に戻し、さ

らに発展させ」との

一文を加えました。

核保有国は不参加を理

由に署名に背を向けま

した。

とすると新興・途上国を

指す「グローバル・サ

ウス」について初めて

明記。存在感が増して

いるとして、連携強化

を盛り込みました。

閣議で2023年版外交青書を報告しました。

面

青書は安保3文書に

関する特集を掲載。同

文書に基づく「力強い

事動向は「これまでに

ない最大の戦略的な挑

戦」だと位置付け、「田

本の総合的な国力と同

盟国・同志国などとの

連携で対応すべきだ」

としました。

ロシアによるウクライナ侵略を受け、「北

方領土」問題の解決を

盛り込みました。

存在感が増して

いるとして、連携強化

を盛り込みました。

台頭によって競争が激化して、「歴史の転換期」にあると明記。これに対し、安保3文書に基づき、「防衛力の抜本的強化」を打ちされた外交を展開し、日米同盟や同志国との協力を強化する」と強調しました。→外交青書要旨①

た。中国など新興国の中でも、林芳正外相は11日の閣議で2023年版外交青書を報告しました。中国など新興国の中でも、台頭によって競争が激化して、「歴史の転換期」にあると明記。これに対し、安保3文書に基づき、「防衛力の抜本的強化」を打ちされた外交を展開し、日米同盟や同志国との協力を強化する」と強調しました。→外交青書要旨①

約締結交渉については、「展望を述べる状況にならない」と強調しました。韓国は「重要な隣国」だとし、今年3月に尹錫悦（コン・ソンニョル）政権が発表した元徴用干問題の「解

決策」を評価。22年版

にはなった「日韓を

健全な関係に戻し、さ

らに発展させ」との

一文を加えました。

核保有国は不参加を理

由に署名に背を向けま

した。

とすると新興・途上国を

指す「グローバル・サ

ウス」について初めて

明記。存在感が増して

いるとして、連携強化

を盛り込みました。

核兵器禁止条約につ

いては、昨年と同様に

閣議で対応すべきだ

とした。

とすると新興・途上国を

指す「グローバル・サ

ウス」について初めて

明記。存在感が増して

いるとして、連携強化

を盛り込みました。

核兵器禁止条約につ

いては、昨年と同様に

閣議で対応すべきだ

とした。

とすると新興・途上国を

指す「グローバル・サ

ウス」について初めて

明記。存在感が増して

いるとして、連携強化

を盛り込みました。

核兵器禁止条約につ

いては、昨年と同様に

閣議で対応すべきだ

とした。